

KSKQ

エヌピーオー

NPOちゅうぶ 通信

ねん がつごう
2025年6月号



By.Ayu

優生保護法問題映画上映会＆講演会	赤おに・青おに×ムーブメント こうりゅうかい 交流会
しょううたいれん おおさかし がくしゅうかい きほんこうそう 障大連 大阪市ブロック学習会 基本構想	えーいーでいこうしゅう ふおー ゆー AED講習 for You
おおさか かんさいばんぱく しょうがいしゃ たの 大阪・関西万博 障害者も楽しめるのか！	じるせいしん てあ JIL精神プロジェクトとの出会い
はんぱく い 万博に行ってよかったです！	きどみ、ちお へや 木戸通雄の部屋
すぎはら だいち 杉原大地さん 自立生活プログラム報告	マノスタ
でいーひーあいぜんこくしゅうかい けんりいいんかい うご D P 全国集会 権利委員会の動きと課題	きょうりょくかいひ 協力会費 カンパ
かた ちゅうぶを語る 事務局 西尾悦子	へんしゅうこうき 編集後記
しまぶくろ 島袋さんようこそ我が家へ	

優生保護法問題 映画上映会＆講演会

優生保護法問題を理解し、今後の取組に心を寄せた集いでした 169名参加

5月16日、問うネット(おおさか旧優生保護法を問うネットワーク)、大阪聴力障害者協会、大阪弁護団の三者で開催し、大阪府内のCILに結集する障害者を中心に、幅広い方が参加くださいました。



沈黙を強いられてきた人に丁寧な説明を！！

冒頭、優生連共同代表で、映画の製作にも関わったあ連盟の大竹浩司さんに挨拶をいただきました。

大竹さんから、「今一番大事なのは被害者の掘り起こし。沈黙を強いられた人に丁寧に説明をしていきたい。」という話がありました。

沈黙の50年

なぜ、子どもを作ってはいけない人と言われなければならなかったのか！！

映画「沈黙の50年」は、本当に、心に迫るものがありました。

兵庫の原告 小林宝二さん、喜美子さん(共に聴覚障害者)の実話です。

厳しい差別を生き抜いて、夫婦で心を通わせて共に生きる喜びもつかの間、赤ちゃんがダメになつたと無理やり中絶と強制不妊手術を受けさせられました。

何も説明もなく行われる強制不妊手術を勧めたのは、宝二さんのお母さんでした。「赤ちゃんは絶対にダメ」と言う母の憎々しさ。宝二さん夫婦は、「不良な子孫の出生を防止する」優生思想に基づく国策であったなど、知るよしもありません。優生保護法によって、親子関係も不幸な関係になりました。



聴覚障害者はコミュニケーションが取れない中で

我慢して生きてきた カわいがられる障害者になれと言われた

大聴協の中岡正人さんに映画の解説をいただきました。お話を特に印象に残っているのは、聴こえことで受けてきた厳しい差別の実態でした。

「昔の聴こえない人は仕事で差別、いじめがあり、給料も聴こえる人に比べてずいぶん安かった」、「かわいがられる障害者になれと言われてきた。聴こえる人の言うことは我慢して従うしかなかった。自分で決める力は奪われてきた。」という実態は障害者全体に通じる話だと思いました。

さらに、手話を学ぶことが否定され、言語発達が不確実になった結果、「聴覚障害者は9歳の壁を超えることができていない」と、能力を低く見られてきたというお話をとても、衝撃的でした。

そして、「コミュニケーションは生きる力であるのに、親子でもコミュニケーションがなく、会話を楽しむ経験もできず、聴こえない人は常に緊張状態で我慢を重ねて生きてきた。」というお話をからコミュニケーションがないという状態はいかに辛いのかと改めて思いました。

こういう聴覚障害者おかけてきた差別的な背景の中での強制不妊問題を理解していかないと改めて思いました。

また、調査の活動の結果、「聴こえない子どもを産んではダメ」という圧力が強く、犠牲になってきた人が多い、親、親戚だけでなく、学校の教師が関与してきた実態のお話もありました。

情報不足、知られたくない思い、証拠や記録がないなどの事情で、提訴できている人が少ないけれど、これからも、優生思想をなくす運動を進めていくと、力強いお話をいただきました。

障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けて、今後の課題

さらに、DPI副議長の尾上浩二さんから、最高裁の判決を受け、12月27日に内閣府から発表された「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けた行動計画」の批判的な紹介と、今後の課題をお示しいただきました。

まず、政府の取組で丁寧な障害者団体等へのヒアリングがあつたことは評価できるが、当事者などから指摘を受けた内容が十分に行動計画に示されていないという指摘がありました。

特にかい離が著しいのが、「子育て等の支援」「インクルーシブ教育の推進」「障害女性などの複合差別への取り組み」とのお話がありました。

子育て支援の課題では、具体的な取組として、支援策の充実などが挙げられずに、「障害者が希望する結婚・出産・子育て支援取組事例集の周知」に留まっている問題が、また、教育については、優生保護法を学校教育を通じて広げていったことへの反省もなく、インクルーシブモデル校の取組など分離を前提とした「交流・共同学習の推進」に留まっていると問題が指摘されました。また、複合差別の問題はまったく取り上げられていないという話です。

差別のない社会の実現のためには、構成変革をもたらす取組が必要であり、インクルーシブ教育への転換、「優生保護法の歴史と被害」について必須教育にする、医療・教育・福祉などの専門職へ

の社会モデルの教育の実施などの必要性を挙げられました。さらには、記憶を風化させず、未来への取組拠点としての資料館の設置、優生人権被害を無視してきた歴的経過の反省に立って国内人権機関を設置すること、優生保護法問題を踏まえた障害者基本法の改正などについて、提起されました。

そして、国の行動計画については、「私たち抜き」であってはならないという認識に立ち、定期協議のための作業部会や、障害者政策委員会による検討によって、改訂、スパイラルアップをさせないといけないと訴えられました。

被害を掘り起こし 謝罪と補償を届けよう！！

最後に、優生連の共同代表の大橋由香子さんから、やつとここまで来た。でも、まだスタートだ。障害の違い、親と

子、産むことを奪われた障害者、産めよ増やせよと言われている女性と分断されてきたが、だからこそ、ともに闘おう呼びかけがありました。そして、弁護団の堤弁護士から、サポート弁護士制度の活用の訴えがありました。今後の闘いへの想いを確認し、会を終わりました。



今後の課題・運動側の取り組み①

- 「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現」のためには、構造的な変革につながる取り組みが不可欠
- 学校教育と優生思想
 - △ 大前提としてのインクルーシブ教育への転換
 - △ かつて優生保護法を肯定して教えてきた反省をふまえて、「優生保護法の歴史と被害」の学習
 - △ 医療・教育・福祉・司法など専門職に対して、「優生保護法の歴史・被害や『社会モデル』についての研修
- 優生思想をなくす拠点としての資料館

今後の課題・運動側の取り組み②

- 「結婚、出産、子育てを含めた希望する生活の実現に向けた支援」
→「周知」だけでなく、予算を伴う人的支援の充実を
- 脱施設（精神科病院を含む）・地域生活の推進
- 優生思想に基づく差別の根絶を盛り込んだ「障害者基本法改正」cfハンセン基本法
- 人権侵害の継続・拡大をもたらした救済機関の不在
 - △ 国内人権機関の設置と政策委員会の再編・強化
 - △ 当面、政策委員会の定例化や分科会・PTの設置など



(文責:堀)

わたくし 私 だったかもしない 後世に語り継ぐ一員となりたい

聴覚障害者当事者スタッフ・青おに 松倉 由夏

「わたし だったかもしない。産まれた時代が違ったならば…」
映画会の会場を出た後に、ふと頭に浮かんだ。

子どもを産むことができたらとイメージを膨らませる小林夫妻を、ろう者の俳優が演じていた。
表現の1つ1つがとてもリアルで何度も泣きそうになった。



子どもをあやす未来、子どもを抱っこする未来、肩車する未来…1つ1つの表現の先に虚無が待ち受ける。人がぐるぐると回る表現は、時間の経過を表していた。ろう者の俳優たちの演技に脱帽。
現実には子どもはおらず…夢の時間が終わっていくシーンに少し涙が出たのはここだけの話。

手術など、なにもなければあったはずの幸せな時間。

「赤ちゃんに会いたい。。。ごめんなさい。」
妻の喜美子さん、「怖い夢を見た。」と言っていた。
そうだろう。病院に連れていかれて、医師の話も看護師の話も分からず。わけも分からぬままに、医療機器の照射があてられる。怖くないはずがない。映画の主人公である小林夫妻は何も悪くない。だけど「ごめんなさい」と言った。国よ、この言葉の重みが分かるか。

静岡にろうの強制不妊手術被害者が多いのは、ろう学校の校長先生が卒業生を集めて、「子どもを産んではいけない」と言っていたことが一因だったという。当時の校長先生たちは、どんな気持ちで旧優生保護法裁判の行く末を見ているのだろうか。

大阪聴力障害者協会の中岡さんの話もまた、1人1人の心に残る話だったと思う。ろう学校で昔、手話が禁じられていた。中岡さん曰く「手話を使って話したら、叩かれて小屋に入れられた」そうだ。
私がろう学校に通っていた時は当たり前のように生徒も先生も手話で話していた。手で話す、にぎやかな世界に足を踏み入れた喜びとワクワクする気持ちを、ろう学校に転校してから日々感じていた。

「何もできずに黙ってきたという人がたくさんいる。」
この事実を忘れず、後世に語り継ぐ一員となりたいと思う。

映画会に参加したろう者が言っていた。「今日は車いすの人多いな」
私は「大阪の障害者団体が集結していますので」と答えた。
障害種別関係なく、この旧優生保護法問題や優生思想に立ち向かっていく始まりの日になつたら良いと思いつながら映画会を振り返っている。

自由な外出は、自立生活の第一歩！



障大連 大阪市ブロック

大阪市バリアフリー基本構想と万博

始まる人と大人気の万博。
障害者は万博を楽しめるのか？
改善することは何か？徹底検証

新大阪、天王寺、梅田、難波、京橋…市内 25 地区のうち 10 地区は終了。で何がどうなった？

残り 15 地区。天満橋、北浜、淀屋橋、新今宮、上本町・谷町九丁目…困ることない？

2023 年度から動き出した大阪市のバリアフリー基本構想。4 年間で 25 地区の見直しを急ピッチで進めています。今回は、新大阪、天王寺、梅田、なんば、京橋を中心としたこの 2 年間の取り組みを振り返り、これからの課題と一緒に考えます。また、後半では、万博なども含めて当事者の意見反映について一緒に考えていきたいです。ぜひご参加ください。



● 基本講演：塙葉子さん（自立生活センターナビ・障大連交通部会）

基本構想では広域委員として梅田、難波、天王寺、京橋などのまちあるき、会議にも参加。大阪府福祉のまちづくり条例改正にも関わる。万博情報についても話してもらいます。



● 京橋地区の取り組み：自立生活センターあるる「永谷朋裕さん」

京橋で実際に取り組み、解決したこと残った課題について話してもらいます

地下鉄京橋駅にあるコムズガーデン。地上は柵だけだったのが、今回、障害者意見も反映され見事に柵が撤去された。ところが…違法駐輪がたくさん。あなたならどうしますか？



●日時：7月18日（金）13:30～16:30 参加費無料

●大阪府福祉情報コミュニケーションセンター（コミセン）4階（会議室1A）zoom併用

●申し込み：Zoom の方は7月11日（金）までにお申し込みください。



主催：障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議（障大連）

TEL：TEL 06-6748-0646 FAX 06-6748-0673
syodairen@mbr.nifty.com

企画担当：石田

おおさか かんさいばんぱく しょうがいしゃ たの 大阪・関西万博 障害者も楽しめるのか！！

おおさか かんさいばんぱく 大阪・関西万博は、アクセシブルでインクルーシブな万博、障害の有無に関わらず同じ水準のサービスを 享受できる万博を目指して取組が進められました。

(施設整備に関するユニバーサルデザインガイドライン改訂版) (ユニバーサルサービスガイドライン 展示・催事／演出・飲食／物販)
検討会などを通じて多くの当事者の参画がありました。本当に楽しめるのか、総括と評価が必要です。
堀のプライベートでの5月の来場経験から気づきを語ります。

大屋根リング上にも車いすトイレがあります

大屋根リングへは24人乗りエレベーター、車いすトイレが完備されています。点字ブロックも黄色が実現できたのは本当に良かった。しかし、リング上の展望デッキには点字ブロックがないという声があります。
大屋根リングから、会場を一望する風景は圧巻で、ぜひ体験してみてください。



万博の水上ショー「アオと夜の虹のパレード」は予約なしでも車いす席があります

堀は、抽選予約はショーもパビリオンも全滅でした。でも、夜2回ウォータープラザで開催される水上ショーは見たかったので、多少見にくくてもいいかという覚悟でトライしました。車椅子席は、正面(上、下)、東西にありますが、予約観覧券になっているのは正面だけのようでした。1時間前に行くと、警備員が私を見かけて案内してくれて、東側車椅子席がゲットできました。声もプロジェクションマッピングも正面よりは劣ると思いますが、十分に満足できました。大屋根リングからも見ようとする人がいっぱいでした。



会場内にはインクルーシブ遊具も！

「ここはみんなが集い交流できる遊び場です。あらゆる年齢、性別、能力、国籍の人たちが集う場所です。遊びがある暮らしを地球上のすべての人に」と案内板に記載されています。



パビリオンは車椅子でも楽しめる工夫がたくさん！

アメリカ館、中国館、ドイツ館、ペルー館、モナコ館、UAE(アラブ首長国連邦)館、コモンズ A館を観ました。展示で懸念されるのは、人の背中を見るばかりで車椅子だとほとんど見えないのでないかということです。アメリカ館はとても工夫されていました。通路に沿って、複数のモニターが頭上にあり壁面の展示も含め車椅子で見やかったです。また、スクリーンなどには車椅子席が設置され、誘導もきちんとしてくれました。



UAE館は、アラブの雰囲気を全体で感じることができ、パフォーマンスも平素間で見やすかったです。しかし、右の展示テーブルは立位で見れる画像位置で車椅子からは見えにくく残念でした。



中国館(左)も巨大展示版が壁面全体にあり、全体に見やすく親切でした。ドイツ館(中)の展示はマスクコットのサーティーと共に周り、展示にタッチすると音声案内が流れる仕組み。タッチ位置が少し高い場所もありましたが、大体利用できました。展示テーブルの高さは良い感じでした。モナコ館(右)は、手を入れて触ると画像が反応する仕掛けがありました。触覚を楽しむのですが、しかし、画像がアウトプットなので視覚障害者が楽しめるものではありませんでした。



カームダウルームをもっと使いやすくしてほしい

同行した発達障害がある息子が疲れて大変になったので、カームダウルームを使えるものなら使おうと思いましたが、なんと、鍵がかかっており、誰にどう連絡すれば使えるのかもわかりませんでした。しんどい時にすぐに使えるようにしてほしいと思いました。



万博 行ってよかったです！

赤おに 杉原 大地

会場内はバリアフリー 介護ベッドもついている

赤おにの杉原大地です。今回は5月12日に行った万博についてお伝えします。

まず、会場には母と車で行きました。車は隣接している障害者用駐車場に止めました。会場に行く途中、舞洲あたりから障害者用駐車場の案内表示があったので分かりやすかったです。入場は東ゲートから入ったのですが、障害者専用レーンがあったので並ばずに入れました。



駐車場でも、ゲートでも、障害者手帳の確認が無かったので不正が心配でした。

会場内は基本的にバリアフリーで、車椅子用トイレも十分にありました。僕が使ったすべてのトイレに介護ベッドがついていました。

パビリオンは優先レーンでスムーズに入れた

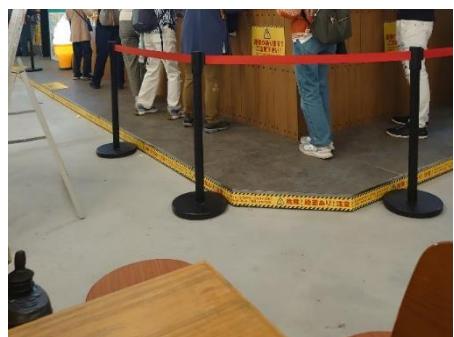
パビリオンはイタリア館、ハンガリー館、ベルギー館、スペイン館、フランス館、アメリカ館、オーストリア館、スイス館、バーレーン館に入りました。車椅子は優先だったので並ばずに入れました。本場のワッフルが食べたかったのでベルギー館の前の店に3回も買いに行ったのですが、毎回45分待ちだったので結局諦めました。アメリカ館は車椅子用の観覧スペースがあつたりしてよかったです、出入口のドアの敷居に2、3センチの段差があったのでスムーズに通れませんでした。ハンガリー館にも同様の段差がありました。最後に入ったバーレーン館では2階でスタッフから話を聞くのですが、階段と離れたエレベーターで僕が上がっている間にはほとんど話が終わっていて残念でした。また、鉱物などの匂いを嗅ぐ体験コーナーでは車いすで届かない位置に容器があって壁から外すことができなかったので体験できませんでした。



ドイツ館にも行きましたが、車椅子は1時間に3組ずつしか入れなくて、予約も出来なかったので諦めました。

フードコートの注文カウンター前に段差が！？

昼食はフードコートのパン屋で買った450円のカレーパン、フランス館のパン屋で買った560円のクロワッサン、アメリカ館のレストランでテイクアウトした650円のフライドポテトでした。クロワッサンはとても層が厚くておいしかったです。ポテトに付属していた、毒々しいオレンジ色のソースもおいしかったです。コンビニで買うことも考えましたが、行列ができていたのでやめました。



夕食は18時過ぎにフードコートで食べました。注文まで約20分並びましたが、席は確保できました。ほとんどのメニューが1000円前後で、僕の注文した炒飯は単品が880円、定食にすると1280円でした。ここでは少し問題がありました。まずテーブルが多過ぎて通路が狭く、車椅子で通れないところが多くありました。また、注文カウンターの前に15センチくらいの段差があるので、1人で行った車椅子の人は困ると思いました。少し残念なところもありましたが、行って良かったです。ワッフルも買いたいし、ドイツ館にも行きたいのでもう一回行こうと思います。



じりつせいかつ
自立生活センター・ナビ
からのお知らせ

すぎはら たいち
杉原 大地さん

じりつせいかつ
自立生活プログラム報告

せいかつかいあか つうしょ すぎはらたいち じりつせいかつ
生活介護赤おにに通所している杉原大地さんの自立生活プログラム
を 4月から始めています。今回(2回目)は、先輩障害者宅訪問を企画で
とかいなつき はじ こんかい かいめ せんぱいしようがいしゃたくほうもん きかく
渡海奈穂さんとお話しをさせていただきました。



渡海さんとのお話を紹介します。

ひとりく はなし しょうかい
Q. 一人暮らしするきっかけを教えてください。

おや ひと はや ひとりく ほう
A. 親や、ちゅうぶの人に「早く一人暮らしした方がいいよ。」とい
い 言われたのが、きっかけです。

ひとりく おし ひと はや ひとりく ほう
Q. 生活している中で工夫していることはありますか？

かえ あと じぶん うご
A. ヘルパーが帰った後でも自分で動けるようにコップなどのセッティングをしてもらったり、トイレの失敗
おお まえ きが お
多いからトイレの前に着替えを置いてもらっています。

じかんたい き
Q. ヘルパーは、どの時間帯に来てもらっていますか？

あさ じ じ はい よる じ じ はい
A. 朝は7時～9時に入ってもらっていて、夜は17時～21時で入ってもらっています。日曜日は外出もす
るから9時～21時まで入ってくれています。

いえ なか いどう
Q. 家の中の移動はどうしていますか？

こま つ いす すわ いどう おお すぎはら おな ほほう
A. 駒が付いた椅子に座って移動することが多いです。(杉原さんも同じ方法)

かんけい
Q. ヘルパーとの関係でしんどくなることはありますか？

おな くうかん い たが へ や わ
A. 同じ空間に居るとお互いしんどくなるから部屋を分けるようにしています。

とかいなつき さい
渡海奈穂さん 49歳
ひとりく ねんめ げんざい おおさかしない
一人暮らし 24年目。現在は大阪市内
しえいじゅうたく せいかつ
の市営住宅で生活されています。

杉原さんの感想

ちようかひひあつ かんそう
町会費を集めることは、めんどくさいけど障害者が住ん
でいるということを知ってもらえる。という話を聞いて、
ひと かんけい だいじ おも
人との関係は大事だと思いました。ヘルパーとの関係や
すいどうこうねつひ ぐたいてき はなし き よ
水道光熱費のことなど具体的な話が聞けて良かったで
す。



じりつせいかつ あいえるびー
自立生活プログラム(ILP)とは? 多くの障害者は障害があるというだけで、ひとりで買物に行ったり
ともだち あそ い しごと おお しうがいしゃ しうがい
友達と遊びに行ったり、仕事をするなどのごく当たり前のことを経験する機会すら失ってきます。
しようがい せいげん せいかつ うば がいしゅつ りょうり あそ きんせんかんり さまざま けいけん
障害があることで制限された生活によって奪われてきた外出・料理・遊び・金銭管理など様々な経験を
じりつせいかつ しようがいしゃ たの と もど
自立生活をしている障害者がリーダーとなり楽しみながら取り戻していくプログラムです。

でいーぴーあいにほんかいぎぜんこくしゅうかい

DPI日本会議全国集会 5/31

障害者権利委員会の最新の動きと日本が取り組むべき課題

5月31日～開催されたDPI集会で障害者権利委員会の動きや障害者基本計画改正に向けた取組について、講演を聞いたので印象に残ったことを中心に報告します。

(文責:堀)

国連・障害者権利委員会委員活動報告(田門浩弁護士)

1月から障害者委員として就任された田門弁護士(聴覚障害者)のお話でした。最近の権利委員会の議論では、災害発生時の障害者の保護の課題や優生思想の除去の課題について、各国の審査を行っていました。

日本については、次回の建設的対話は2033年8月の予定で、政府報告期限が28年2月、リストオブイシューが30年3月となっているそうです。委員長キム・ミヨン氏、視覚障害6名車椅子使用者5名杖使用者1名聴覚障害1名その他5名の陣容のことでした。



特に、印象的だったのは、国連の公式会議は国際手話で通訳されるが、時間外のブリーフィングやワーキンググループ会議では、ご自分で雇用した2名のアメリカ手話通訳によるそうですが、費用は1名分の半額しか負担してもらえないということで、国連ですら、通訳の保障は課題なんだなと思いました。

障害者基本法改正等の動き～国連勧告、優生保護法最高裁判決を受け、今こそ改正を～



2011年の改正によって、権利条約の批准に向けて国内法が整備できた
(以下は堀が把握した概要) DPIは今年度中に障害者基本法の改正を目標にしている。2011年の障害者基本法の改正は、障害者権利条約の批准のために、社会モデルに基づく障害定義の見直し、差別の禁止、国際協調などの原則が盛り込まれ、これを受けて、総合支援法、差別解消法、雇用促進などの法整備が行われ、権利条約が批准されている。

障害者基本法とは、基本方針を示す障害分野の憲法のようなもの

基本法とは、なにか? 国政の重要な分野において、基本方針を示すもので、憲法と個別法の間をつなぐ親法。つまり、障害分野における憲法ともいえるもので、ここで規定されている具体的な理念や方向性にしたがって、具体的な施策を定める法律が定められる。

障害者基本法の改正がなされず、時代遅れに

では、今、何が問題になっているのか? 障害者基本法は、2011年以降、3年後に見直すという規定がありながら改正されずに14年が経過し、時代に取り残されてしまっている。その弊害として、障害者差別禁止法の改正での議論が象徴的である。差別の定義を実態に即したものに見直し、「間接差別」「関連差別」「複合差別」などを盛り込むべきと意見を反映していたが、それに対して、「障害者基本法にも規定されていないものを盛り込むことはできない」と一蹴された。どんなに悔しかったか!

障害者基本法のアップデートを

- 2011年 障害者権利条約批准に向けて障害者基本法改正
- 各種法律制定～基本法は改正から10年を経て時代遅れに
- 2011年 障害者虐待防止法 ※基本法には虐待防止規定なし
- 2012年 障害者総合支援法
- 2013年 障害者差別解消法、障害者雇用促進法改正
- 2018年 障害者文化芸術推進法
2018、20年 バリアフリー法改正
- 2019年 読書バリアフリー法
- 2022年 情報アクセビリティ・コミュニケーション法
- 2022年夏 国連・障害者権利委員会での条約審査
～総括所見～実施に向け障害者基本法改正を

いっぽう こべつぼう かいせい そうせつ すす
一方で個別法の改正や創設が進んでいる。
ぎやくたいほうしほう きほんぼう きてい
虐待防止法ができたが基本法には規定がない。
い。また、障害者文化芸術推進法、読書バリア
フリー法、情報アクセシビリティ・コミュニケー
ション法もできたが、そのあたりの基本法での
規定はとても弱い。

そうかつしょん ないよう きほんぼう はんえい
総括所見の内容を基本法へ反映したい
ねん そうかつしょん けんり
さらには、22年に総括所見がだされた。権利
じょうやく そうかつしょん じつこう
条約の総括所見にそって、これを実行するた
めの基本法の改正がぜひとも必要である。

ゆうせいほご ほうもんだい ふ さべつ しゃかい
優生保護法問題を踏まえ差別のない社会を
つく しょうがいしゃきほんぼう かいせい
作るために障害者基本法の改正をすべき
さくねん がつ ゆうせいほご ほうもんだい かつきとき ほんけつ
昨年7月に優生保護法問題の画期的な判決が
か と う しゅしょ しゃざい
勝ち取られた。それを受け、首相の謝罪、
「偏見や差別のない共生社会の実現に向けた
こうどうけいかく こうひょう じんけんしんがい たい
行動計画」も公表された。人権侵害に対して
じんそく たいおう じつこうせいい たいせい こうちく
迅速に対応する実効性のある体制の構築、つ
まり独立した人権機関の設立が必要。差別の
しゃかい じつづん ほうせいど かた
ない社会を実現するために法制度のあり方も
か と う ほんどう かた
踏まえて検討するということは、まさに、
しょうがいしゃきほんぼう かいせい ほんたい い
障害者基本法を改正すべき問題であると言え
る。

だつしせつ きょういく じつげん てんぽう
脱施設、インクルーシブ教育の実現を展望
し障害者基本法の改正を勝ち取る
しょうがいしゃきほんぼう かいせい か と
障害者政策委員会では基本法の改正を求めた
こゑ あお あ きほんぼう かいせい もと
声を多く挙げている。事務局の答弁も無視を
するのでなく、立法事実の検討などが必要と
いうニュアンスの答弁になってきている。優生
さいこうういはんけつ じゅうぶん りっぽうじじつ
の最高裁判が十分な立法事実でないのか。
政策委員会だけでなく、各政党での活発な
ぎろん おこな かんきょう づく ひつよう
議論を行う環境を作ることが必要。
きほんぼう かいせい か と お そうかつ
基本法改正ができれば終わりでなく、総括
しょけんじつう きほんぼう かいせい
所見実行のための基本法改正である。
だつしせつ きょういく じつげん がっこう
脱施設、インクルーシブ教育実現のため、学校
きょういくほう そうごくしきんぼう せいしんほんかんふくしほう かいせい
教育法、総合支援法、精神保健福祉法の改正
むとりくみ すす
に向けてさらに取組を進めたい。

障害者基本法改正で解決したい10のテーマ

1. 優生思想に基づく差別・偏見のない社会!

- 旧優生保護法の最高裁判決を踏まえ、「優生思想に基づく差別・偏見のない社会」を基本法に盛り込んで下さい。

2. 地域生活の基盤整備!

- 親亡き後も安心して地域で暮らし続けられるために、重度訪問介護の対象拡大、本人の望む生活を応援する支給決定、ヘルパー人材の確保などの基盤整備をお願いします。

3. 地域移行のための居住支援!

- 障害者が住める住宅はほとんどありません。バリアフリー住宅の推進、自治体借り上げ住宅、家賃補助を含めた居住支援策の創設もお願いします。

4. 住宅や小規模店舗のバリアフリーの推進!

- 共同住宅、飲食店等の小規模店舗、高速バス等はバリアフリー化がほとんど進んでいません。基本法に明記し、新たな取り組みをお願いします。

5. 同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育の推進!

- 権利条約が求めるインクルーシブ教育を実現するために、同じ場でどもに学ぶことを原則とすること、合理的配慮の提供を義務化する等の改正をお願いします。

6. 共に働く雇用の場!

- 障害者雇用における差別禁止と合理的配慮の提供の義務は障害者基本法に記載されていません。紛争解決を含む相談体制の整備も必要です。

7. 複合差別の解消!

- 障害と女性という複合差別を解消する取り組みが必要です。2022年に日本政府に出された権利委員会の総括所見を踏まえて基本法の見直しをお願いします。

8. 障害者文化芸術のさらなる推進!

- 障害者が身近な地域で創作や鑑賞の機会を得られるよう、大阪・関西万博以降も文化芸術における合理的配慮の提供と環境整備等のさらなる推進策をお願いします。

9. 内閣府障害者政策委員会の機能強化!

- 障害者権利条約の国内監視機関として、内閣府障害者政策委員会が条約の実施状況を直接監視できるように、機能強化が必要です。障害種別や性別等に配慮した委員構成もお願いします。

10. 障害当事者の参画による施策の策定!

- 東京2020オリンピックパラリンピックで実現した障害当事者参画を次世代に繋いでいくことが必要です。施策や大規模施設等の計画段階から当事者が参画する仕組みをお願いします。

※尾上さんの許可を得て、レジメから引用しています

ちゅうぶ 40周年に際して

これまでのちゅうぶ、これからちゅうぶを語る

～事務局・理事のインタビュー 第11弾 西尾悦子(事務局)

「介護をすることは、社会を変えること」

編集部:池田、石田

【大阪には障害者がいる!?】

編集部:通信インタビュー始めます。西尾さんは
事務局ですが、学生時代からちゅうぶに関わって
もらい、作業所を経て今はヘルプセンターでつ
پです。職員になって何年目ですか？

西尾:大学を卒業してからすぐで35年かな。同じくら
い古いのは上林くん。

編集部:愛媛出身だと思いますが、そもそもなんでお
大阪に来たんですか？

西尾:大阪に来ようと思って大阪の大学を受けたか
ら。

編集部:大阪に来たかったんですか？

西尾:そうですね。早く実家を出て自立したかったの
で。3歳上の兄が大阪教育大学に通っていて、
西川和男さんの介護に入りました。まだ介護の
制度は無くボランティア時代。で、夏休みに帰省し
てきた時に、高校生の私は兄から話を聞きまし
た。「大阪には障害者がおるぞ」と思いました。

編集部:大阪に障害者がおる！？(笑)

面白そうな障害者がいるから大阪へ

西尾:愛媛では当時、街で障害者を見ることが無か
ったんですよ。大阪には西川和男さんっていう
面白い障害者がいて、介護やってるよって聞い



て、障害者の活動が面白そうだなと思って、私も
やくたに立てるかなと、やってみたくなった。それ
で、大学は大阪の大学と決めました。私が大学
にゅうしょくしてさいどかたしにゅうしょくたしにゅうしょく
公立は1校しか受けられなかつたけど、私の年か
ら前期、後期とかで2校受けられる事になつたと思
います。それで大阪の大学に絞つて2つ受けた。
ひとつは府立大の社会福祉学科。もうひとつが

大阪教育大学の

障害児教育過程。

地元の大学は受け

ない、私立も受けな

い。だから、この2

つに落ちたら終わり

と思ってました。

一応、両方合格は

しました。



2023年忘年会

編集部：それで、なんで教育大？

西尾：初めは、府立大が第一希望だったので、府立に行くつもりだったんです。

わたし ふだん ねつで にじしけん
私、普段はめったに熱出なのに二次試験
(府立大)の時、大阪で発熱して病院行って、熱がある状態で受けて、落ちたと思ったけどまさかの合格。なので、当然、行くつもりでした。
府立大の合格発表は愛媛からだと遠いので兄に代わりに見に行ってもらったんですけど、大学の合格発表の映像とかテレビのニュースで見るじゃない？あの盛り上がる感じを一生に一度くらい、直に経験したいなと急に気が変わって、大阪教育大の合格発表に愛媛から行く事にしました。

教育大は賑やかで活気があった

当時の教育大は今と違って、古い建物で、大学には見えなくて。でも賑やかで活気があって、サークルのビルを配っている人とかいたと思います。それで面白ううだなって思った。一方、府立大の方は合格発表は見に行ってないけど、建物はきれいで、兄が言うには「府立大は落ち着いていたぞ、静かな感じ」って。私も、夏休みに母親と両方の大学を下見には行ってたんですけど、どうしようかな、第一志望は府立大だし、熱が出た状態でせっかく受かったけど…って悩んだけど、自分の直感を信じて教育大に変えました。周りの人には「なんで府立に行かないの？」ってすごく言われたけど。

家を早く出たかった

編集部：教育大は今は奈良県境の柏原市だけど、当時は大阪の池田市、天王寺、平野の3つに分かれてましたね。入学式とかは池田でした。ちなみに、なんで家を出たかったんですか？

西尾：まあそれは色々です。それまでの自分を変えるきっかけにしたいとか、早く自立したいとか。で

きるだけ仕送りは最低限にして、奨学金を借りてアルバイトもしたら、ある程度なんとかなるかかるかなあと。国公立は授業料免除の制度があったからタダで行ける事が分かってたし。授業料がタダじゃなかったら、大学には行ってないと思います。

かか にゅうぶ ちゅうぶと関わるサークルに入部

編集部：大学のサークルにはすぐに入ったんです

か？

西尾 そうですね。前は障害者解放研究会って名前で私が入学したときは「リム」って名前で、ちゅうぶと関わっていました。初めの頃は、他のサークルにも顔出しました。婦問研(婦人問題)、解放研(部落解放研究会)とか、在朝研(在日朝鮮人問題研究会)とか、企画あつたら行ってました。

編集部：人権系で行こうと思ってたんですね。高校時代から？

西尾：高校生のとき兄から聞いた話が、障害児殺しの話。親が将来を悲觀して子どもを殺した。それに対して「親の刑を軽くして」という運動が起つた、どう思う？…そんな話を兄から聞いていた。兄は学生寮に入っていたから。

編集部：当時の寮に入ってる学生は大体運動関係に行くような時代でしたね。

西尾：兄からその話を聞いて「お前どう思う？」って訊かれて、「親の刑を軽くしてあげるのはいいことだと思う」と言ったら、それが差別やと言われて。

編集部：リムには学生は何人くらいいた？

西尾：私の代は女子3人でした。他、先輩も入れて10名くらいでした。



【 学生時代、衝撃だったこと 】

光園が山奥過ぎてビックリ

編集部：当時リムに入って、覚えていることがありますか？

西尾：衝撃的だったのは障害者入所施設の光園。泉佐野市の山の中過ぎてビックリ。光園に行くまでの道で、確かアケビの実を取ったと思います。野々村隆弘さんの話を施設の屋上で聞いたのを覚えてる。（光園は今、ちゅうぶで外出取り組みをしています。最近、阪和線の駅の近くに引っ越ししています）

編集部：バス停から20分かかるからね。あそこを歩いたんですか？

西尾：歩きました。ここで一生暮らすっていうのは衝撃だった。療養ならわかる。けど、一生暮らすなんて。山はうちの田舎にあるけど、でもね…。あとは南哲治郎さんの家に行ったり。家の真ん中にどんつて布団が敷かれた部屋だった。（就学免除で学校に行けなかったが活発に活動していた重度障害者）

リムとちゅうぶと大交流キャンプ

編集部：学生の時、介護は誰には入ってた？

西尾：女性は瀬古さんしかいなかつた。1回生のときは毎週土曜の泊まりに入つてました。結婚して、娘さんも居ました。介護制度がないから、介護入のも全部自腹。交通費は出ないし、お風呂介護で銭湯に行っても自分の銭湯代は自分で払う。瀬古さんの家にもお風呂はあったけど、狭いし。瀬古さんの、4歳になる子どもも連れて、介護者はお風呂のときだけ2人付けて銭湯に。場所は喜連瓜破だつたかな。

編集部：大学時代の思い出。リムはちゅうぶと一緒に

活動した感じだったかな。

西尾：そうですね。大交流キャンプもありました。

学生の時は、障害者と一緒に班長をしたり。障害者40人、健常者80人の120人でのキャンプ。職員になってからは、川嶋さんと一緒にキャンプ実行委員をやつたり。

編集部：普段あんまり関係のない障害者もキャンプに来ました。半分くらい初めて会う人たち。



1992年EV付銭湯

西尾：知的障害や精神障害の人も結構来ていた。

事前の顔合わせ、プレキャンプ、キャンプ、振り返りでポストキャンプがあった。プレキャンプは実際にキャンプをするわけではないんだけど、顔を合わせてどんな人が知っておかないと、キャンプで介護をするわけだから。

編集部：半分くらいの人が初めて会つて一泊二日介護をするんだから、大変だよね。建物は海の家で、全然バリアフリーじゃなかつた。

西尾：どんな障害、どんな介護が必要ですかとか、親御さんに事前に聞いて参加者に伝えたり。

【 介護に入ってお金がもらえるなんて】

西尾：私が大学一回生の時つて介護は無償。でも南部の方が介護の事業化が早くて、時給が出てた。で、南部で介護に入つて市大の、同じ年の子とはなつたら南部は時給が発生していることを知つて。「え、介護って交通費が出て、お金ももらえるの？」つて衝撃を受けたのを覚えてる。

介護はさせてもらうっていう、勉強させてもらうために入る、というイメージだったからびっくり。今とは感覚違うけど、「介護してお金もらっていいんですか?」って。

でも、私も住んでたアパートはお風呂がなくて銭湯行かなあかんかったから、当時、銭湯代が1回200円ちょっと?で10回分の値段で回数券を買ったら11回入れるっていうのを使ってお風呂行ってて。それを介護で一回使うのはちょっとしんどかった。大阪に来て、最初は豊中に住んでいたけど、豊中から介護で喜運瓜破に行くのにもお金はかかるから。そういうのを出してもらえるのは助かるなと思ったけど。

介護の時給は250円

編集部:学生時代はどんなアルバイトをしてましたか?

西尾:私がしていたバイトは家庭教師。一番割がいないので。それが途切れたときに「和食さと」で働いていた。奨学金だけでは無理なので。平野のお店だったと思う。でも期間としては短かったの、次の家庭教師先が見つかったから。あとは夏休みだけ、矢田の学童保育のアルバイトに行ったり。夏はプールとかで人が必要だから。それで、2回生になった時に、ちゅうぶも介護の事業化をして、交通費とか払うようになって、時給は確か250円だったと思います。

卒業してすぐにちゅうぶへ

編集部:介護の制度を作るための事業化だったはず。今ではちょっとイメージしにくいですが。卒業してすぐちゅうぶに入ったんだよね。ほかの道への迷いとかはなかつたの?



西尾:そのままお互いに、職員になるのかな、という感じで。特に就職活動もしなかったし。

編集部:当時の給料ってどうだった?



西尾:低かったんじゃないかな?一年目は社会保険にも入ってなくて、各自国保に加入した。2年目に、社保加入だった。職員の人数は10人ちょっとかな…。

編集部:ところで…ちゅうぶの中でやってきた仕事は何ですか?

西尾:前はずっと通所。無認可作業所と言われていた時代から。それから国の制度ができて、おにわ(ちゅうぶの4階建て)ができるからも赤おに(生活介護)担当。すてっぷ(介護派遣部門)は8年前に異動になりました。

【作業所で大切にていたこと。メイドカフェにも行きました…】

編集部:西尾さんが作業所で大切にしていたこと、

力を入れていたことはありますか?

西尾:楽しかったのは、いろんな人の役に立つたらいいなって思ってやってたんだけど、通信の企画で、アクセス調査。駅はバリアフリーが進んでいて当たり前だし、記事にしてもあまり面白くないし。レジヤー施設で障害者が楽しめるかっていう軸で調査して、映画館とかにも行ったけど、その時に世間で流行っている場所に調査に行きました。例えばメイドカフェ。障害者も行けるんかなって思って、

行ってみた。行きたい人を募って何か所か割り振りして、グループで行った。事前にメイドさんたちにする質問もみんなで考えて、メンバーの森川さんは「お嬢様って幾つまで言ってもらえるんやろうねえ」なんて話しながら行った。実際にメイド喫茶で「幾つまでお嬢様って言ってくれる？」って聞いたら、メイドさんに「私の親くらいの世代まで」って言われて、森川さんが「じゃあ私は？」って聞いたら「お嬢様です」って言われて喜んでたりとか。

(笑) そういうのを通信に掲載して。

競艇も面白かった！

西尾：あと競艇も面白かった。グループホーム・リオが日本財団の支援を受けている。「助成金でリオの柱くらいにはなってるよね？お世話になってるのに、入居者のみんなも行った事ないっておかしいよね？」って話して。(リオ風呂増設工事で助成してもらいました)。何年か、しばらく毎年行ってましたね。

興味があるメンバーで。100円から賭けられるから「はまって知らんで、自己責任やで」とって言って。でも賭け方がわからないから、林君に講師をしてもらって事前に勉強会もして。行ってみたら思っているイメージよりもずっと行きやすい場所。あと賭け事になると人格が変わるものも面白かった。「車いすでも行けます！」って通信にレポートを掲載して。

U.S.J 100人で楽しもう！企画も！



作業所運動会
きてもらって。こっちも学習していかないと、何が課題かわからない。

編集部：結構みんな、U.S.Jのクルーと30分とか1時間、ちゃんと話をした。
西尾：通所に通っているメンバーとちゃんと打ち合わせして、学習して、ああいうのは楽しかった。その時はもう、私はすぐつぶにいたと思うけど。
編集部：あと昔は、書き損じハガキを集めて、郵便局に持って行く活動もしてましたね。お店に箱を置いてもらって、地道にやってた。新聞にも載せたら結構ハガキの反響があった。

【香害、化学物質過敏症ってなかなか理解されない】

編集部：職員会議でチャレンジシートのテーマで化学物質過敏症の話をしてくれましたが、みんなにも知ってもらいたい話でした。

西尾：高校時代の友達が、化学物質過敏症で結構苦しんでいる。深刻な状況。仕事も行けない。基本的に一人で家にいる。
今「香害」が問題になっているけど、洗剤、シャンプー、柔軟剤…そういったものに反応して、頭痛とか倦怠感とか、症状がでて、体調が悪くなる。家族にすら理解されない。「気にしすぎ」「もっと慣れるべき」とかそういう意見を言われて。彼女は住むところにも困っている。
隣の家の人が合成洗剤を使って洗った洗濯物を干している、その空気が窓から入ってくるのもダメ。窓も開けられない。

願いは安全に息がしたいだけ

彼女の願いはただ「安全に呼吸がしたい」だけ。引っ越しをするにしても、業者がトラックの中で消音するサービス、あれもダメ。
終の棲家を探しているが、新しく買った家電製品もダメ、数日屋外で風を通さなければいけない。この病気は周囲の人に生活を変えてもらう必要がある。程度の差はあるけど、..

原因がそれだけは分からずに、症状が出てる人は増えていると思う。

汗のにおいの方が全然まし。でもそれを消そうとスプレーしたら症状がでる。学校で給食当番のエプロンを洗濯して、柔軟剤も使う。それを次の当番の子に渡したら、その柔軟剤で発症して、体調悪くて学校に行けなくなる子もいたり。

最近は柔軟剤が多い。エチケットとして香りを付ける人が多い。タバコの害だったら周囲への影響はわかりやすい。なのに、柔軟剤は良かれと思ってやっているところがあるから理解されにくい。

編集部：昔はシックハウス症候群って言われていた。部屋の消臭剤のCMも怖い。子どもがあれを見続けていると、毎日消臭剤を使うのが正しいマナーだと思う大人になる。

友達が無理な洗剤やシャンプーは使わない

西尾：私は基本的には、洗剤もシャンプー類も、友達が無理な物は使わない。そうじゃないと、彼女に会えないから。

遠いので、年に数回しか会えてない。体調が悪くなつてもヘルパーに来てもらうわけにもいかない。

化学物質さらに体調が悪くなるから。一回でも合成洗剤を使うと分かるらしい。私は基本的にそういうものは使わないけど、たとえば電車に乗つて会いに行くけど、私が座った椅子の洗浄消毒や、前に座った人の洗剤がシートに残っていて、移香というのだけど、それだけでも分かるらしい。

その友達と以前、自然食品のお店に食べに行つたことがあるけど、その時も途中で体調が悪くなつた。食品は大丈夫でも、店員の使っているシャンプーのにおいがダメだった。

急にいで症状がでる

彼女は、子どもの頃から、急に遠近感がなくなるとか、大学入試の時はテスト用紙のインクのにお

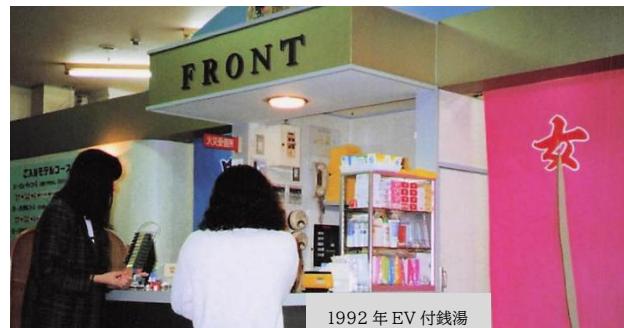
いで字が読めなくなったりとか、そういう症状があったそう。

その時は原因は分からなかつたけど。育つところも、農薬散布がすごかつたみたい。

多分、その人の化学物質のキャパシティがオーバーすると発症するのかな。一生、なんともない人もいるけど、分からなから。

だからできるだけ遠ざける方がいいんだと思います。彼女も若いころは普通におしゃれとかもしてたし。今になって、あれが良くなかったんだな、とかきづ

くに國も「メカニズムが解明されていないから禁止もできない」という感じで、規制もしない。すごく難しいです。今なんともないと、みんな、自分事にできないうといふところが。



[ちゅうぶの強み・弱み]

編集部：今はすぐつぶで介護派遣コーディネート担当ですが、ちゅうぶの強み、弱みとか、こうなつたらいいとか、素朴な疑問とかどうですか？

新人職員がたくさん入ってくれた

西尾：職員が増えて、今年も新人職員が沢山入ってくれている。

今は介護に入ってくれていた大学生が卒業して新しい学生が定着するまで不安定だつたり、現在介護派遣している人の生活を守るので手一杯だけど、通所メンバーでこれから自立を目指す人も

いるし、落ち着いたら、そんな人たちに介護派遣
ができたらしいなって思う。
もうちょっと自立できる障害者が増えたらいいなつ
て思っています。

いろんなことができる おにごっことか
スタッフもいっぱいいるし、いろんな人がいて、い
ろんなことができる。
去年で言ったら大阪城の階段補助取り組みとか、
なんばおにごっこなど、社会的には意味があるこ
とを、ちゅうぶの中でも、皆が少しずつでも関わっ
て、全体でできたらいい。
「これやるで！」って呼びかけがもっとできたらいい。
介護現場ばっかりがいいっていう人もいるけ
ど、両方程よく関わるのがいいのかなって思う。
ウエイトはそれぞれで、力を発揮できるところがあ
る。

**周りを変える、環境を変える、
社会を変える取り組み**
編集部：そもそも、階段で車いす担いだ経験がある
人はほとんどいない。どこまで声をかけていいの
か悩んだ。昔は普通に階段担ぎ上げしていたよ
ね？

西尾：してた。だって階段しかなかったから。
あと、社会モデルって言葉があって、この業界で
は一般的だけど、私、大学一回生で一年間介護
して、だんだんどんどんになってきてた。自分の生活



123年ちゅうぶ忘年会 ベテラン組の出し物「アイドル養成所...UFO...」会場大盛り上がり！

もあるし、お金はないし、介護してお金もらおうと
は思ってなかつたけど、出費が多い。
一年くらい経つて、「実はこれは、社会を変えようと
しているんだよ」というのを知って、周りを変え
る、環境を変える、社会を変える取り組みなんだよ
って言われて「そうなんだ！」って。
早く知っていたらもっと楽だったかもって思った。
当時はコーディネーターがないから、障害者
本人か自分で介護者を探す形だった。

社会モデルの考え方で生きやすくなる

編集部：ひたすら介護枠を埋める作業になっていた
んですね。

西尾：「社会を変える」って言葉はサークルで知った
けど、しんどいのは自分が悪いわけじゃないんだ
って。

今、ナビの東さんが小学校に行って講演したり、
通所でも学校交流で「どうやって社会モデルを伝
えよう」って考えたりしてるとと思うけど、そういう
意識を早く持てたらいいなって思う。
障害に限らず、そういう考え方が広まれば生きやす
くなる人はたくさんいると思います。

【ストレス解消法…】

編集部：なるほど。ところで、休みの日はどうしてま
すか？ パフェ食べ歩きしているとか。

西尾：パフェもたまに行きますが、最近は家にいる事
が多いです。

ミニシアターでやってるドキュメンタリーとかが好き
で、七藝（第七芸術劇場）に行きたいんだけど、
最近、バタバタしていてなかなか行けてないです。
もう少し落ち着けば行きたいですね。一応会員にな
ってます。

編集部：3月に学生が卒業して新しい学生が定着
するまで落ち着きませんね。女性は特に学生が多

いので調整が大変だと思います。ストレス解消法は

なんですか？

西尾：それ聞かれても困るのよー。

編集部：ストレスを食べている？

「しあわせは食べて寝て待て」

西尾：そうかも（笑）。あまり考えないようにしてます。では、好きなものの話。「しあわせは食べて寝て待て」っていうNHKのドラマがすごく良くて、終わってしまったので、ちょっとロスになってます。

このドラマもそうだけど、自分を癒してくれるものが好きですね。

猫の動画、赤ちゃんの動画。自由気ままに動いている猫の動画を見ると、癒されます。抹茶系のお菓子が好きなので、それを食べながら、赤ちゃんや猫の動画を見ていると幸せ。

寄り添えるところが素敵

編集部：西尾さんって、たとえばAさんとBさんの意見がぶつかっているとき、どちらかに肩入れはせず、フェアにものごとを見ながら、それでいてAさんにもBさんにも寄り添えるところが素敵だなって思う。それは元々得意だったこと？それとも意識して身に付いたことですか？

西尾：客観的に見て、こっちが悪いって思っても、それぞれの言い分ってあるよねって思う。だから、明らかにあちらに非があると思っても、それぞれの言い分には耳を傾けたいとは思ってる。仕事をしていると、しょっちゅうそういうことはある。自分がだれかと対立することがあっても、敵意むき出しにしてもねえ。でもバランスは難しいよ、難しいなと思いつながらやっています。

編集部：今日はいろいろ貴重な話、ありがとうございます。

チャレンジシートで西尾さん作成のマイリーフレットより



ちゅうぶで働く意味って？～西尾悦子～

まだ介護の制度がない頃、学生時代の介護ボランティアから始まり、色々な障害者と関わらせてもらいました。大人になっても服を自分で選んで買った事がない等、経験を制限された障害者がたくさんいる事に驚き、そんな社会環境に疑問を感じました。

ちゅうぶの職員になり、通所部門（赤おに）を経て、今は介護派遣のコーディネーターをしています。重度の障害者にとって、自分のしたい生活を送る事は、不可能だと思いまされていました。サポートが不十分であるが故に、まだまだ困難な状況です。それでも、いろんな人が囲わり、一緒に悩み、時間をかけて取り組み、10年、20年かけて、グループホームでの生活やひとり暮らしを実現させたり、初めての旅行に行ったり・・・。

人の力を借りて、自分の今まで、やりたい事を主張して生きている姿は、社会全体にとってきっとプラスになる、いわゆる「生産性」でははかけない物を感じます。それをもっと社会にアピールしていきたいですね。

しまぶくろ 島袋さん ようこそ我が家へ

さる3月27日、島袋さんが我が家に見学に来ました。

島袋さんは今年1月にグループホームリオに入居したばかりの若手のホープです。私は親子くらい年が離れてます。

島袋さんから私の家にお邪魔したいと言われて実現しました。いろいろ話もできて良かったです。

以下、そのときの話を載せます。

①趣味は何ですか

外出、音楽、自宅で楽しめることを探して
ドリップコーヒーの適温探し

②特技はありますか

パソコン。エクセル検定を取った。
SNSサーフィン

③好きな食べ物・苦手な食べ物

好き→うどん
苦手→動物性の食品（お腹こわす）

④兄弟はいますか

弟が1人（1つ年下）。結婚し、子供がいる。

⑤学校はどこに通いましたか

簿記の専門学校を卒業した。

⑥卒業してからどうしてましたか

20歳頃、事務職で半年間働いていた。

21歳頃、貿易会社で営業事務

その後、別の貿易会社で7年働く。

⑦ナビのILPを受けてどうでした

自分の意識を感じることが出来た。
色々人と接して考えることが増え、
勉強になった。

⑧リオ入居前の親の反応は

父は2年前は「無理や」と言っていた。
自身のリオ体験で調理を頑張って父に意思を見せたら、認めてくれた。

ILPで実家での雰囲気が良くなった。
先日、実家に帰ると「顔つきがしっかりとした」と言われた。

⑨入居してみてどうですか

最高です！！ずっと施設に8年ぐらい居たので自由度があって良いです！

全部自分で決めて自由に暮らしています。
体験者に自宅を見せて、役に立っているような気分です。

⑩将来の夢はありますか

当事者支援のスタッフになりたいです。

インタビューを終えて

島袋さんのことはほとんど知らなかつたのですごく新鮮でした。話を聞いて感じたことは、自分をしっかり見ていると思います。それと気配り上手だなと思った。自分はできないから羨ましいです。

島袋さん、楽しい話を聞かせてくれてありがとうございます！！これからもよろしくお願ひします。



ごとう
(後藤)

あか 赤おに・青おに×ムーブメント

こうりゅう ゆったり交流ランチ会 かい

5月9日(金)、赤おに・青おにのメンバーと今村、安井、眞野、スタッフの上田、重原かづき、佐々木貴祐が、ムーブメントへ交流に行ってきました。

今回の目的は、ランチと一緒に食べながらの自己紹介＆交流タイム。趣味や生活介護での活動のこと、そして「どうして生活介護に関わるようになったのか」など、普段あまり話さないような深い話も出てきて、とてもいい時間になりました。中には、なかなか聞けないような体験談を話してくれた人もいて、心に残る場面も。

思わず共通点もいくつか発覚。重原かづきさんの娘さんと、ムーブメントのスタッフの妹さんが同じ中学校に通っていることがわかって、みんなびっくり！ 真野君の小学生時代の同級生がムーブメントのスタッフだったこともわかり、懐かしい話に花が咲きました。

こういう出会いや再会って、やっぱりうれしいものです。



ひとつ心残りだったのは、時間が足りなくて全員の自己紹介ができなかったこと。でも、それも「また来よう！」というきっかけに。今回話せなかったメンバーとスタッフの声も、次回きっと聞けるはず。次の交流が楽しみです。



眞野君：小学校の頃の同級生がいて昔の話をした。会えてよかったです。

安井君：自己紹介の時にムーブメントのメンバーさんやスタッフの好きなものや事業所に入ったきっかけなど、色々な話を聞けてとても良かったです。

今村：ほかの事業所に見学に行けて良かったです。
もっと他の事業所を見学してみたいとおもいました。

ムーブメントの皆さんありがとうございました！

また交流しましょう！

(文責:今村)



えーいーでいこうしゅうふおー ゆー AED講習for You

先日、通所のスタッフミーティングでAEDと応急手当の講習がありました。
映像で救急救命の流れを見た後、デモキットを使って胸骨圧迫の練習、切り傷ややけど、窒息(喉詰まり)の手当を学びました。胸骨圧迫には思いのほか力が必要で、1分間続けると汗ばんできます。

ちが 違つていてもいいので、動くことが大事

けんしゅう とお じんめいきゅうじょ もつと じゅうよう たしううちが ないおう こと うご こと
研修を通して、人命救助に最も重要なことは「多少違つても良いのでとりあえず対応する事、動く事」と
おぞ 教わりました。

ただ てじゅん たいせつ いちばん だいじ とき そくぎ じょうきょうはんだん うご なかなか
正しい手順も大切だけど、マインドが一番大事。でもでも、いざという時、即座に状況判断して動くのは中々
むずか 難しいですよね…。

えーいーでい きどう ひら じとうきょう おう てじゅん じどうおんせい なが
で・す・が！AEDを起動する(フタを開ける)とその状況に応じた手順が自動音声アナウンスで流れてきます。とりあえずAEDを見つけてフタをあける！！そうすれば何とかなる！のです！新しいAEDには液晶
がめん み がぞう つか てじゅんあんない ちょうかくしようがいしゃ ひとり つか
画面が付いていて、画像を使った手順案内もあるそうで、聴覚障害者でも一人で使えます。

あか あか もの ふる えきしょうがめん ほんぶたてもの
ですが、赤おににある物は古く、液晶画面は付いていません…。ちなみに、ちゅうぶの本部建物「おにわ」
しゅうへん む につけらうかつどうさぎょうしょ あか いりぐち えーいーでい
周辺では、おにわ向かいにある日中活動作業所「赤おに」入口にAEDがあります。

かくぶしょ けんしゅう 各部署でも研修があればいいな

ひなんくんねん おな ていきてき かいい い おも じゅこうないよう こんかい
避難訓練と同じように、ちゅうぶ各部署でも定期的に開催できたら良いな、と思う受講内容でした。今回、
作業所「赤おに」「青おに」で依頼した出張講習代は、受講者一人につき 2000円(AED60分+応急手当30
分)、大阪ライフサポート協会にお願いしました。

じんめいきゅうじょみすい 人命救助未遂

さいご わたし じんめいきゅうじょみすいはなし いぜん まえ たお こと
最後に、私の人命救助未遂話を。以前、住んでいたアパートのすぐ前に、おじいさんが倒れていた事ありました。
はんのう はんのう けいないでんわ とき もど
差をかけても反応がなく、「これはまずい！」と携帯電話を取りに家に戻りました。

きゆうきゅうしゃ よ げんぱ もど すで た あ はなし だいじょうぶ の す
急救車を呼びつつ、現場に戻ると、そのおじいさんは既に立ち上がり、話かけるも、「大丈夫、飲み過ぎただけ」と言います。かなりの高齢に見え頭を打っている恐れもあり、救急車を呼んだ後だったので、乗った
ほう すす こうれい み あたま う おぞ きゆうきゅうしゃ よ あと の
方が良いと勧めるも、このまま帰ると言い、歩き始めました。「いえ乗ってください」、「いやこのまま帰る」、「乗っ
て下さい」、「このまま帰る」のラリーが何度も続いた後、「しつこい
んじゃお前！！」と怒鳴り始めたその老人。

どせい ぶじ かくにん ほう まき
怒声で無事を確認できたので、放っておけば良いものを、「紛ら
わしいわ！道で寝るな！」と売り言葉を買ってしまい、怒鳴りあって
いる間に、呼んだ救急車もどこかに帰っていましたとさ…。



ちなみに、その件以降も道端で寝ている高齢男性を何度も見たことがあります。お酒の缶を持っていたため飲み過ぎという事はわ
かったのですが、飲み過ぎると酔い覚ましに道に寝る事が一般的な世代(道寝世代)というのがあるのでしょうか。

しゃしん こうしゅう き ふたり
写真は講習に来ていただいた講師のお二人です。(文責:岩見)

JIL精神プロジェクトとの出会い

ぶんせき ほんじょう
(文責:本庄)

ソロプレイヤー万年ぼっち本庄、仲間に出会う

この障害福祉業界には、自分と同じく精神的課題を抱えるスタッフが比較的多く存在するといわれている。私は精神障害者手帳を取得し、当事者活動を合間でさせてもらったり、非正規雇用枠で働いている。しかし自分自身以外で、精神系・発達系の問題をオーブンにして就労している人間と話したことがなかった。一つ思いあたるとしたら障大連で一緒に講演したばかりの梅田さんくらい。(もしかしたらすぐ近くにもいてるかもしれない。手帳を持っている同僚もわからない。そんな話を深く話せるほど人間関係を築けてないのかもしれない。)何人かいた気もするけれど、深く話す前に辞めてしまう。どのように働いているのかなど話す機会はなかった。何を合理的配慮として求めてよいのかわからない。どこまでが自分の怠惰で、どのように働き、どのような悩みを抱えているのか、知るきっかけもなかった。

JIL精神プロジェクトのお誘い あたらしい出会い

最近ナビの堀さんの計らいで、JIL(全国自立生活センター協議会)の精神プロジェクトがやる「CILで働く精神障害・発達障害のワークショップ」のお誘いをうけた。CILに加盟している団体のなかで、精神や発達障害をもつスタッフたちとの交流できるようになり、ZOOMや対面、メーリングリストなどで情報共有がある。素敵な出会いもあった。

JIL精神プロジェクトの一つの成果が、「精神障害を持つ方の合理的配慮について」という44pにわたりリーフレットの制作だ。我々が継続就労で悩む課題…それぞれが悩んできたことに気づかされた。私の拙文も事例のなかで少々だが採用され、ニヤリとした。(数冊、手元で持て余してしまっているので、ほしい人がいたら教えてほしい)。JIL精神プロジェクトの皆さんに共感してもらうことを通して、自分は発達障害という狭い当事者意識から、精神障害者という広い分類に対して親近感を持てるようになった。

他人事でなくなった精神障害入所問題—神戸市神出病院の虐待事件

精神プロジェクトを通じて具体的な感情に触れる機会があった。神戸の神出病院で精神病棟に入院中息子を亡くされた方の手記を読んだ。しかもそんなに離れた場所ではない、大きな都市であるのがさらにショックである。神戸新聞の記事によると男性患者同士でキスをさせる。陰部にジャムをぬ塗って、別の患者になめさせる。粘着テープで頭をぐるぐる巻きにして看護師が笑っている。怖くなつて震いした。問題になっている精神病棟の不透明性であるが、このような病院がまだまだある。青森のみちのく記念病院で精神病棟では、殺人事件さえ隠蔽された。

みちのく記念病院問題に関する要望書

みちのく記念病院の殺人隠蔽とその他不正問題のニュースを受けて、2025年3月JILから「みちのく記念病院問題に関する要望書」10項目が厚生労働省に提出された。

JILの要望書ではじめて、服役中の男性は「身体拘束が辛くて、事件を起こせば病院から出られると思った」という趣旨のことを話していると知った。多くのニュースでは、みちのく記念病院の異様性と歯ブラシで殺人事件を起こしたことだけがクローズアップされる。殺人はよくないことは100も承知だが、「身体拘束がつらくて」という殺人動機について触れているものはほぼなかった。

精神の入院は何のためにある…？精神科の入院について

しかし私は精神病棟をすべてなくせとは思わない。入院することで安定を取り戻したり、恐怖となる事項から離れられたり、希死念慮から解放されたりすることもある。神出病院の事件が発覚した2019年、私の友達が精神病棟に入院したのでお見舞いにいった。想像とずいぶん違っていて、全面窓ガラスの開放的な空間で作業療法士や看護師がたくさんいて、10代らしき入院患者が談話室で笑ってふざけあったり、編み物をしたり、和気あいあいとした雰囲気だった。時間を決めて携帯電話もいじれるし連絡もとれる。入院した友達も、「ケータイが触りにくいのが退屈なくらいで、意外と快適。逆に退院後が怖い」という感想だった。短期入院だからこそ明るさかもしれない。精神病棟に暗いイメージをもっていた私は拍子抜けた。…だが友達も病院を選んだわけではなく、救急車で精神病院に緊急搬送された受け入れ先が偶然その病院だったわけだ。入院先は選べない。しかし、もし受け入れ先がニュースにあるようなところだったら？もしかしたら精神障害者でなくとも、病気が重複して受け入れ先がそこしかなかったら？身寄りのない患者だったら？みちのく記念病院は認知症の高齢者にも虐待を行っていた。「閉鎖的で中が見えない、人が足りない、外に連絡できない、声をあげられない」そんな条件であればどこにでも発生する問題であり、要望書にあった通り、簡単に事實を隠蔽できるような現精神科医療のシステムを抜本的に変えていかないといけないのだ。

「私たちが受け入れなければ、結局地域で暮らせない？！」—別の友達の言葉

精神医療はなぜこんなに時代錯誤なのか？…こりゃそうなるなあと知った個人的なエピソードがある。精神病院にソーシャルワーカーとして勤めることになった別の学生時代の友人と話して愕然としたことがあった。ついお互いの仕事の話になり、精神医療の長期入院は問題だよねという趣旨の話をしまったのだが、医療サイドで働く彼女の言葉は厳しかった。

「『お願ひだから入院させてくれ』といってる人や家族があんなにたくさんいるのに、私たちが受

「はい
入れなくなったらあの人たちはどこにいけばいいの。結局、あなたたち人権派は言いたいことだけ
言って、現実を知らない。実際に私たちが受け入れなくかったら、社会に居場所なんてないじゃな
い。」

「相談ダイヤル直通の電話おいたりとか、こんなに人権に気遣って、いろいろできる限りのこと頑張
ってるのに、人権派の人達は永遠にああだこうだいって来る。」

「でも、その人たちも、結局地域でなんか暮らせないじゃない。『やっぱり病院に戻りたい、お願ひ
だから入院させてください』って泣いて電話してくる人たちに、あなたたちは病院をなくせっていう
の？看護師さんもいてくれてお医者さんもいてくれて安心なのに。私たちが受け入れてあげなけれ
ば、一人だったら誰がみてくれるの？」

「わたし
私たちはせっかくおしゃれなカフェでパフェを食べていたのに、パフェどころではなくなり、ケンカ
わかれのようになにか思つた。仕事の話なんかするんじゃなかつたと心底
後悔した。そして友達にも納得させられる言葉を見つけられなかつた自分自身にも、悲しかつた。「たし
かに…そういうところは変えていかなきやいけないよね」、軽く問題意識を共感してもらえるとおもつ
っていたのに。彼女が真面目で優しい友人のを知つてゐる。だから権威や役割によつて、誰しもその
立場にいればそうなつてしまふ構造的な問題だと思つた。

「結局地域でなんか暮らせないじゃない」「受け入れてあげている」という病院で働く友達の言葉
に、すべての課題が詰まつてゐる気がした。「仕方ない」が組織の末端まで染め上がつてゐるのだ。

「結局は前例を作っていくしかない。どんどん地域で暮らしていくしかないんじやないか。堂々とヘル
パーも使ってやろう。「仕方ないでしょ」に屈しない。外野からモノをいつてやろう。いつでも見てるぞ
と思ってもらおう。提供側と受ける側のアンバランスさを是正していくためには、いい子ちゃんでは
いられない。

「C I Lで働く精神当事者の顔が見えるようになって、発達障害と精神障害は違うしな…という謎
の境界線が薄まつた。自分の問題としてとらえていいのだと思えるようになった。精神も発達も、
身体も、境界線をこえて、そして、普通だと思っているあなたも、もっと、私ごとのように考えてよ
いのだ。」

参考資料 ●NHKニュース「青森 病院内殺人隠蔽事件 死亡診断書専門の高齢“ひとり医”も」2025年3月7日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250307/k10014742751000.html>

●『みちのく記念病院』の殺人隠蔽と不正問題についての要望書』(全国自立支援センター協議会)2025年3月

27日 <http://j-il.jp/jil.files/20250425.txt> ●神戸新聞「<カビの生えた病棟で一神出病院虐待事件3年>

(1)発覚—報告書から おぞましい行為、集団で黙認」

<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202306/0016526946.shtml> 2023年6月

木戸通雄の部屋

青春プレイバックPART-3

崖っぷちのミッチャー！！



木戸通雄の部屋

●高校時代と100年祭

まだ、地下鉄谷町線が開通するもつともっと昔、それは木戸が阪南大学付属高校に落ち、工芸高校の定時制に通学するお話。



読者の皆様の中には、工芸高校、第二工芸高校在学生や卒業生OBの皆様もいることだと思います。青春時代に時間が無くてできないことがあるかも知れませんが、木戸は1回しかない学生時代に好きなことを工芸高校で思う存分楽しんできました。

(※木戸が約37歳、大昔の小さな青おに作業所に通い始めた頃から



ここで愛読者の皆様へ謝罪しておきます。5月18日(日)の日本橋コスプレまつりの記事を載せられなかったのは、今年から撮影料が3,000円かかるという事で、木戸も2月から光熱水費も節約したのですが、撮影に参加できませんでした。あしからず。



次は令和7年5月18日(日)、難波生國魂神社「彦八まつり」と京都嵐山竹林のエピソードです。

●生國魂神社

「彦八まつり」

彦八まつりで

月亭遊方さん(60歳)とガツツポー

ズ!!本殿で

参拝、62歳になつ

ても「結婚祈願」!



●京都嵐山竹林

四国の英雄、高知県出身の坂本龍馬の銅像の前でハイ、ポーズ!(職員富田譲治・中村哲雄・木戸通雄)

さあ、嵐山の渡月橋を渡るぞ!

当日は雨と予報されていましたが、京都も大阪も晴天で暑かったです。



富田さんが指差す目標まで行くゾー!写真掲載はありませんが、天龍寺(縁談神社)でも木戸は一心不乱に結婚祈願をした。

この日、新人スタッフの奥山さんも同行されました。奥山さんの姿が写真にないのは読者の皆様には残念ですが、まる1日カメラマンをして



いたからです。

竹林の中、外国人観光客と出会い、その人達は少し日本語ができて英語も使いながら富田さんに道をたずねていました。木戸は英語がチンパンカンパンわからなかったです。木戸もその場で知っているだけの英単語を使い会話をした所、そのご夫妻は大阪関西方博にも東京にも行ってきた、とのことでした。この人たちはどれだけ羽振りが良いんだろう? いったい何日間日本に滞在しているのだろう? と思いました。



上の写真は昔流行ったギャグ、タモリさんの「な~んちやってえ~」。10代20代の人はこの名台詞、知らないだろうなあ~。

7月号に続く、乞うご期待を!!(文責:木戸)

まの☆すた☆グラム～駆け抜けてゴールデンウィーク編～

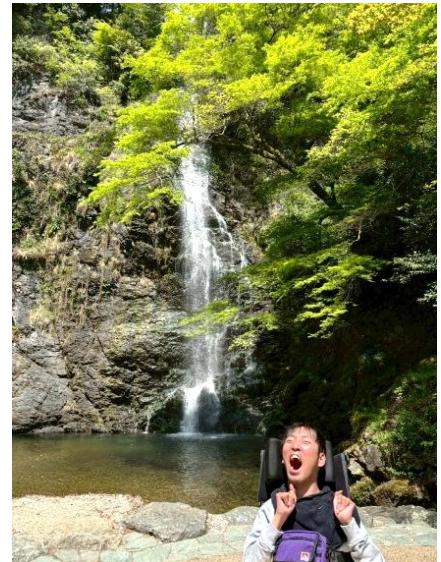
皆さんは今年のゴールデンウィークはどう過ごされましたでしょうか？？



眞野は介護派遣「すてっぷ」を使って4日外出しました！俺よりもGW中に外出したヤツはいるかい？今日は俺のリア充ぶりを少しだけ紹介するよ！

★4/27淡路島弾丸ツアー★

海が見たくてふらりと淡路島に行った。滞在時間15分！次に行く時はもう少しゆっくりしようかな。



★4/29箕面の滝までハイキング★

マイナスイオンが浴びたくて滝に訪れた。滝までの山道は段差なく、車いすでも滝まで無事到着できた！

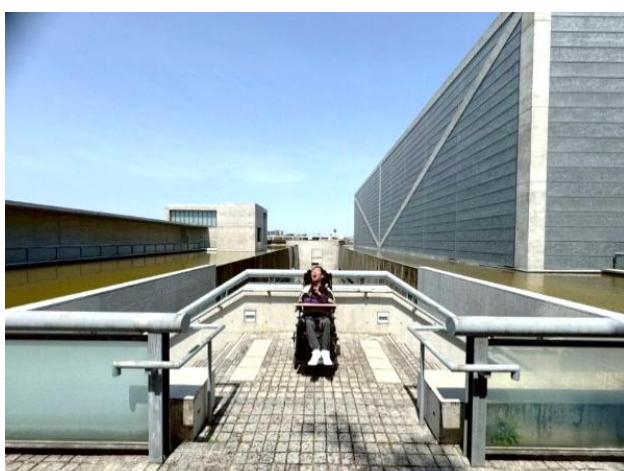
★5/3狭山池博物館★

自然史を勉強したくて博物館に行ってきた。池の周りを散策し、春の暖かさを感じました。

★5/4大カイジ展★

ギャンブルのスリルを感じたくて行ってみた…。すごく…ざわ…ざわ…だった…。

みんなもオススメの外出先があったら教えてくれよな！(文責:眞野)



きょうりょくかいひ

きょうりょくしやめいほ

協力会費・カンパ協力者名簿

わたなべ 渡部	ひろこ 裕子 さん	(長野県) ながのけん (寝屋川市) ねやがわし (東住吉区) ひがしうみよしく	たかい 高井	たけし 毅 さん	(和泉市) izu-mi-shi (東住吉区) ひがしうみよしく (鶴見区) tsurumi-ku
ふじた 藤田	さゆみ さん	宇城 うじろ	喜代江 さん	みな 美奈 さん	
にしむら 西村	さだお 貞男 さん	かとう 加藤			

がつ にちげんざい
6月2日現在

きょうりょく
ご協力ありがとうございました (担当: 安東)

「8番出口」

※ホラーゲーム。地下通路に閉じ込められた状況の中、O番をスタート地点として「8番出口」を目指して地下通路を進む中で「異変」を発見した場合は引き返して逆方向に進み、何も起きない場合はそのまま進む。



⑧番出口が見つからないんです
けど…



青おにくん: 「アメ、アメ、ふれ、ふれ♪」

赤おにくん: 「ん?、アメリカをふるの?」

青おにくん: 「アメリカは多様性をやめるみたいだね、航空事故が起きた原因是

多様性だと言ってたし。雨が降り続くのか、雨がやんだとき、七色の虹が出るのか、一色の虹が出るのか」

赤おにくん:

「ポクたちは違いを認めて共生していきたいね」

何色の虹が出るのかは、未来と、てるてる坊主さんは知ってるのかもね」

2025年6月~8月スケジュール

6月21日	土	22日(日) 28日(土) ちゅうぶ重度訪問介護講座6月コース@ちゅうぶ
7月15日	火	しうだいれんたいふそうけつきしゅうかい 障大連・対府総決起集会 13時~16時半(予定) @中央区民センター2階
7月18日	金	しうだいれんおおさかし障大連大阪市ブロック「大阪市パリアフリー基本構想&万博」13時半~16時半@コミセン(森ノ宮)
7月19日	土	~20日(日) ポムハウス主催、窓談吸引等(3号)研修@ちゅうぶ
8月26日	火	27日(水) 28日(木) IBU四天王寺大学・重度訪問介護講座

●映画「音かなる」。ALS(筋萎縮性側索硬化症)の当事者の生活、活動、葛藤を描いたドキュメンタリー。監督は「道草」の大戸裕さん。2019年末に京都で起こった団員殺人事件が映画作成のきっかけだったとのこと。この事件の時にはすぐに政治家から「安楽死法をつくるべき」という議論が起こった。進行性の難病でもあるALSの症状が進行すると肺を動かす筋肉の動きも鈍くなるため気管切開、人工呼吸器の使用が必要となる。でも実際には7割の人が気管切開を選ばない現実がある。症状・障害の進行自体のしんどさもあるが、一番多いのは「家族の負担を考えてしまう」という理由。痰の吸引をはじめ、体位変換など24時間、365日の全面的な介護、支援が必要となる。家族だけでは現実無理になる。介護保険に加えて重度訪問介護など障害福祉サービスを上乗せで使えるかどうかもポイント。DPI日本会議でも安楽死ではなく「尊厳生」が議論されています。「音かなる」は映画館での上映は終わりましたが、自主上映の動きもあります。またお知らせします。(いした)

●編集後記任されました。よく書くこと無いです。(笑)最近、身边で変わったことといえば、去年の7月からコーディネーターを任せられました。前からやってみたいと思いつつも、実際にやつたら、楽しい反面日々頭を悩ませています(笑)。最初は、というか、今でも、学生、利用者等の関わり方が難しいなあ~と思います。きつく言つたらパワハラになるし、優しく言っても相手に響かなかつたら意味がない。どういう関わり方が良いのかも、日々悩んでいます。まあとりあえず、これからものんびりと頑張っていきます。(なかや)

●毎年、3月からの数カ月は、介護に入ってくれていた学生さんの卒業(お別れ)と、新しい学生さんとの出会いの季節です。3月に、障害当事者も一緒に「卒業生迎い出し会」を開催、一緒に鍋を囲み、介護で楽しかった事や辛かった事、失敗談等エピソードトークで盛り上がり、涙と笑顔で送り出し。学生さんの成長を感じます。そして4月からは、各大学に新歓アピール(介護者募集)へ。私も4月に、数十年ぶりに大学(母校)に行きました。私の学生時代(40年近く前)は介護をやってみませんか?と、学生に声をかけ、ビラを渡し、連絡先を聞く、というスタイルで、ちょっと怪しい団体の怪しい人?に見えていたかも、ですが、今は大学の先生にアポを取り、授業の中で、障害当事者と一緒にアピールをさせてもらいます。ちょうど、学生時代にボランティアで介護をした経験のある先生で、「昔は制度もなかったから、介護に入る事より、介護者を調整する方が大変だった、でも今は時給をもらって介護を体験できる。すごい事ですよ」とおススメの言葉も。ホントにそうですねえ。良い出会いを期待します(にしお)

【東住吉区障がい者基幹相談支援センター】
【自立生活センター・ナビ】
〒546-0042 東住吉区 西今川2-3-8
でんわ = 06(6760)2671
ファックス = 06(6760)2672



【障害者活動センター赤おに】
〒546-0031 東住吉区 田辺5-6-10
でんわ = 06(6623)7300
ファックス = 06(6657)5010

【グループホーム・リオ】
〒546-0032 東住吉区 田辺

2-21-21

でんわ&ファックス = 06(6608)5244

【ヘルプセンター・すてっぷ】
NPO法人ちゅうぶ 2階

でんわ = 06(4703)3741
ファックス = 06(6628)0271

【障害者活動センター青おに】
〒546-0031 東住吉区 田辺5-5-20

でんわ = 06(4703)3742
ファックス = 06(4703)3743

編集 : 特定非営利活動法人
エヌピーローほじゅん

【NPO法人 ちゅうぶ】



〒546-0031
おおさかしひがしまよしつたなべ
大阪市東住吉区田辺5-5-20
でんわ=06(4703)3740
FAX=06(6628)0271
ホームページ=https://npochubu.com/
メールアドレス=chubu@npochubu.com
郵便振込口座: 00960-6-313427
通信定期購読料=1年間2,000円